

2015年1月26日

報道関係者各位

エーザイ株式会社
味の素製薬株式会社

フィリピンで分岐鎖アミノ酸製剤「LIVAMIN[®] Oral Granules」を新発売

エーザイ株式会社(本社:東京都、代表執行役 CEO:内藤晴夫、以下、エーザイ)と味の素製薬株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:長町隆、以下、味の素製薬)は、このたび、分岐鎖アミノ酸製剤「LIVAMIN[®] Oral Granules」(イソロイシン・ロイシン・バリン顆粒、日本製品名「リーバクト[®]配合顆粒」)をフィリピンで新発売したことをお知らせします。

本剤は、味の素製薬が製造販売権を有する分岐鎖アミノ酸製剤です。エーザイは、2009年2月に締結されたアジア諸国での販売権に関する基本契約に基づき、味の素製薬より、フィリピンのほか、香港、中国、マカオにおける本剤の独占的販売権を取得しています。フィリピンにおいては、エーザイの子会社 HI-Eisai Pharmaceutical Inc.が2014年4月に「食事摂取量が十分にもかかわらず低アルブミン血症を呈する非代償性肝硬変患者の低アルブミン血症^{*1}の改善」に係る適応で、承認を取得しました。

肝硬変は、慢性肝炎が進行し、肝臓に繊維が増生して組織が硬くなり、正常な機能を果たせなくなった状態です。肝機能の一部に障害があっても明らかな症状が認められない代償期と、肝機能がさらに低下して黄疸や全身倦怠感、腹水、浮腫、脳症などの症状が出現する非代償期とに分類されます。非代償性肝硬変にみられる症状は、肝硬変の進行に伴って発現する低アルブミン血症による低栄養状態や代謝障害が原因です。本剤は、非代償性肝硬変患者様の血清アルブミン値を改善する薬剤です。

フィリピンにおける肝硬変の患者数は約127,000人で^{*2}、2010年には約9,200の方が肝硬変を原因として亡くなったと報告されており^{*3}、肝硬変はフィリピンにおける医療上の大きな課題となっています。

本剤は、香港においても2014年6月に承認されており、2014年度中の発売を予定しています(香港での製品名は「LIVACT[®] Granules(漢字商標:列維通[®])」)。また、中国においては、承認取得に向けて臨床試験を進めています。両社は、これらの国々に本剤をお届けし、肝臓疾患の患者様のQOLの改善とベネフィットの向上に、より一層貢献してまいります。

^{*1} 肝硬変の進行に伴い、血中のアルブミンが低下した状態

^{*2} “Statistics by Country for Cirrhosis of the liver” RightDiagnosis.com、2015年1月25日アクセス
http://www.rightdiagnosis.com/c/cirrhosis_of_the_liver/stats-country.htm

^{*3} Mokdad et al. Liver cirrhosis mortality in 187 countries between 1980 and 2010: a systematic analysis. *BMC Medicine*. 2014; 12:1455

以上

本件に関する報道関係お問い合わせ先	
エーザイ株式会社 PR部 TEL:03-3817-5120	味の素製薬株式会社 経営企画部 TEL:03-6280-9802